

若越郷土研究総索引(四)

自一八二号(三二卷一号)
至二二三号(三八卷六号)

A 号別総目次 数字は各巻の通し頁数

三二巻(昭和六二)

一八二号

入会林野管見

小林 一男 一

―入会農民の中にある意識―

越前を通過した巡見使の

姓名と回数

春松 進一 一二

春江町井向

山本 昭治 一四

白山神社の板碑

池田儀助翁の家系略傳

一八三号

一八六号

内山隆佐日記(一)

酒井家文庫目録編集

―安政三年の北海道

あれこれ(第二回)

道南地方探検調査―

坂田 玉子 一七

郷土史研究の動向

福井県立図書館

―昭和六十一年―

郷土資料室 二九

一八四号

一八七号

若越郷土研究総索引(四)

グリフィスと白山

―日本は海のスイス―

グリフィスによる白山の

高度測定について

岸俊男先生の

ご逝去を悼む

若越郷土研究総索引(三)

一八五号

酒井家文庫目録編集

あれこれ(第一回)

越前大―探検書(二)

―三上―夫氏の

諸論著によせて―

探訪―旧足羽郡酒生村

篠尾の今昔

池田儀助翁の家系略傳

一八六号

酒井家文庫目録編集

あれこれ(第二回)

麻生津付近の石造遺物

田島村の歩み(一)

一八七号

奉納俳句額と石碑にのこ

山下 英一 三三

田島村の歩み(二)

龍溪 信行 四三

真柄 甚松 四五

橋本左内覚え書

四七

昔の庄屋・戸長について

元禄十四年の巡見使名の

確定と、享保二年三月国

事叢記の記述への疑問

一八九号

貞享二年頃の「福井城下

町組・町名・寺名帳」

水海の田楽能舞を見て

郷土史研究の動向

―昭和六十二年―

一九〇号

帰山と呼坂について

馬來田家公文職系図記

山本 昭治 七五

齋藤與次兵衛 七九

神社(信仰・神事)

人間 雨森信成(一)

ついでに鯖江市俳諧史

齋藤 耕子 八七

齋藤與次兵衛 九八

三三巻(昭和六三)

一八八号

白崎昭一郎 一

杉本伊佐美 一一

春松 進一 一二

松原 信之 一七

久保 日参 二四

福井県立図書館

郷土資料室 二八

小泉 義博 三三

足立 尚計 三八

杉本伊佐美 四七

山下 英一 四九

馬來田家公文職系図記

(下)

神社(信仰・神事)(続)

一九二号

県内の芭蕉碑と

その地の俳諧史(二)

人間 雨森信成(二)

河和田町の式内・

敷山神社(上)

一九三号

西街道の変遷と蕪木浦

県内の芭蕉碑と

その地の俳諧史(二)

河和田町の式内・

敷山神社(下)

三四巻(平成元)

一九四号

將軍近習小笠原藏人と

若狭守護代小笠原長房

県内の芭蕉碑と

その地の俳諧史(三)

一九五号

今立吐酔とグリフィス 山下 英一 一九

県内の芭蕉碑と

その地の俳諧史(四)

日本近代の「信教自由」

の歴史的性格

越前真宗地帯の

事例から

福井県における郷土史

研究の動向

昭和六十三年

一昭七号

蓮如信仰の一考察(二)

鯖江市河和田地区の

四季行事

戦国期若狭の延公事法

蓮如信仰の一考察(二)

南北朝期の若狭国人

三方氏について

県内芭蕉碑と

その地の俳諧史(五)

三五巻(平成二)

二〇〇号

二人の留学生と

グリフィス(二)

県内芭蕉碑と

その地の俳諧史(六)

二〇一号

室町期の若狭守護代

三方氏の政治的地位

県内芭蕉碑と

その地の俳諧史(七)

二〇二号

楠木正成と湊川の合戦

武生市本承寺蔵史料一覽

県内芭蕉碑と

その地の俳諧史(八)

東称名寺創建と

琵琶湖阿曾津伝説の謎

二人の留学生と

グリフィス(二)

仏教王国「越前若狭」

足立 尚計 五六

杉本伊佐美 六三

齋藤 耕子 六七

山下 英一 七六

杉本伊佐美 八三

小泉 義博 八五

齋藤 耕子 九〇

杉本伊佐美 九九

齋藤 耕子 一三

河村 昭一 一

齋藤 耕子 一三

河村 昭一 一

齋藤 耕子 一三

河村 昭一 一

齋藤 耕子 一三

河村 昭一 一

齋藤 耕子 一三

河村 昭一 一

齋藤 耕子 一三

河村 昭一 一

若越郷土研究総索引(四)

- 二〇四号
 近世若狭の無尽経営
 春江町の板碑群
 郷土史研究の動向
 小泉 義博 六九
 山本 昭治 七九
 福井県立図書館
 郷土資料室 八一
 平成年一
 建武政権期若狭国の
 国司と守護(上)
 山頂集落宝尾の廃絶
 大飯郡旧佐分利村宝尾・
 大田和・上津廃村
 吉井 功兒 四三
 杉本 壽 四九
 美濃派遣統の句碑と
 足羽敬明名号考
 河村 昭一 九一
 足立 尚計 百一
- 二〇五号
 グリフィスと越前紙漉村
 岡田家と南海寺の
 仏像について
 増田 市三 九七
 頭巾山権現を以て式内
 大飯郡許波伎神社にな
 すべきや
 杉本 壽 百二
 河和田地区について
 杉本伊佐美 五三
 福井藩お雇い教師ルセー
 山下 英一 一
 美濃派遣統の句碑と
 その地の俳諧史(二)
 斎藤 耕子 百五
- 三六卷(平成三)
 越前地誌補考
 国人領主福原氏の
 存在形態
 杉原 丈夫 一
 松野 高士 七
 近世教賀の
 百五拾人講経営
 小泉 義博 七五
 美濃派遣統の句碑と
 その地の俳諧史(四)
 斎藤 耕子 二九
- 二〇六号
 「式内許波伎神社を
 めぐる若丹山岳王国の
 構成」
 杉本 壽 一七
 美濃派遣統の句碑と
 その地の俳諧史
 斎藤 耕子 八二
 越前式月輪について
 山本 昭治 三二
- 二〇七号
 福井県の古い婚礼風習
 杉本伊佐美 二〇
 福井県内の昔の生活
 杉本伊佐美 八六
- ふるさと歴史漫筆(その二)坂田 玉子 二三
 山岳民族
 宝尾桜井家の系譜
 杉本 壽 三三
 継承をめぐる
 足羽敬明名号考
 河村 昭一 九一
 足立 尚計 百一
- 二〇八号
 建武政権期若狭国の
 国司と守護(上)
 山頂集落宝尾の廃絶
 大飯郡旧佐分利村宝尾・
 大田和・上津廃村
 吉井 功兒 四三
 杉本 壽 四九
 美濃派遣統の句碑と
 足羽敬明名号考
 河村 昭一 九一
 足立 尚計 百一
- 二〇九号
 福井県立鯖江高等学校
 図書館蔵 東溟歌集
 辻森 秀英 五九
 色丹島雜記
 三田村琢美 一四
- 二一〇号
 国司と守護(下)
 (一)宝尾村落の生存構造
 吉井 功兒 六三
 杉本 壽 七〇
 「越前国之図」(貞享二年)
 と「元禄郷帳」・「天保
 郷帳」の村名・村高に
 ついて(一)
 海道 静香 一九

二一四号

戦国期の北庄橋

小泉 義博 三五

御所侍名田・新御所侍職

田地

小泉 義博 八三

「越前国之図」(貞享二年)

と「元禄郷帳」・「天保郷帳」の村名・村高に

海道 静香 四七

「越前国之図」(貞享二年)

と「元禄郷帳」・「天保郷帳」の村名・村高に

海道 静香 四二

「越前国之図」(貞享二年)

と「元禄郷帳」・「天保郷帳」の村名・村高に

海道 静香 九〇

「越前国之図」(貞享二年)

と「元禄郷帳」・「天保郷帳」の村名・村高に

海道 静香 四七

ついて(二)

海道 静香 四二

ついて(四)

海道 静香 九〇

越前朝倉氏と

加賀一向一揆(三)

小泉 義博 五三

美濃派遣統の句碑と

その地の俳諧史(五)

斎藤 耕子 四八

沼津兵学校の

三八卷(平成五)

江戸時代の

一農村の苦悩

畑中 省吾 五九

二一五号

福井県の成立と「嶺北」

中島 嘉文 五一

福井藩員外生

山下 英一 一

二二二号

万葉集「五幡坂」について

「嶺南」地方の形成

中島 嘉文 五一

越前善応寺について(二)

池田 正男 一四

「越前国之図」(貞享二年)

美濃派遣統の句碑と

その地の俳諧史(六)

斎藤 耕子 六〇

越前漆器の蒔絵と

池田 正男 一四

と「元禄郷帳」・「天保郷帳」の村名・村高に

辻森 秀英 七一

街道・昔の旅

杉本伊佐美 六四

越前漆器の蒔絵と

杉本伊佐美 一九

「元禄郷帳」・「天保郷帳」の村名・村高に

海道 静香 七四

二一六号

五幡坂とたこの呼坂

辻森 秀英 六七

越前朝倉氏と

加賀一向一揆(二)

二二三号

天明時代の俳諧撰集

「越前国之図」(貞享二年)

と「元禄郷帳」・「天保郷帳」の村名・村高に

海道 静香 七〇

加賀一向一揆(二)

小泉 義博 二一

『千鳥塚』について

斎藤 耕子 八七

ついて(三)

海道 静香 七〇

越前善応寺について(三)

池田 正男 二八

中世禅宗寺院

越前善応寺について(四)

中世禅宗寺院

海道 静香 七〇

越前朝倉氏と

加賀一向一揆(二)

中世禅宗寺院

越前善応寺について(四)

越前善応寺について(二)

池田 正男 七九

越前朝倉氏と

加賀一向一揆(二)

鯖江市和田町の二石塔

山本 昭治 九八

二一七号

越前善応寺について(二)

池田 正男 七九

越前朝倉氏と

加賀一向一揆(二)

鯖江市和田町の二石塔

山本 昭治 九八

B 著者索引

題名の長いものは最初の10字で切
つてある。数字は巻数・号数と頁数

著者	題名	巻	頁	著者	題名	巻	頁
河村 昭一	「越前国之図」(6)		三六五	斎藤 耕子	奉納俳句額と石碑にの		三〇六
	將軍近習小笠原藏人と		三四二		県内の芭蕉碑とその(1)		三〇五
	南北朝の若狭国人三		三四六		県内の芭蕉碑とその(2)		三〇六
	室町期の若狭守護代三		三五三		県内の芭蕉碑とその(3)		三〇七
	南北朝期の若狭守護領		三六六		県内の芭蕉碑とその(4)		三〇八
	郷土史研究の動向S 61		三〇三		県内の芭蕉碑とその(5)		三〇九
	郷土史研究の動向S 62		三〇三		県内芭蕉碑とその地(6)		三〇九
	郷土史研究の動向S 63		三四三		県内芭蕉碑とその地(7)		三〇九
	郷土史研究の動向H 1		三五五		県内芭蕉碑とその地(8)		三〇九
	池田儀助翁の家系略傳		三〇四		美濃派遣統の句碑と(1)		三〇五
	水海の田楽能舞を見て		三〇三		美濃派遣統の句碑と(2)		三〇六
	武生市本承寺藏史料一		三五三		美濃派遣統の句碑と(3)		三〇七
池田 正男	越前大一新撰書(2)三上		三〇四		美濃派遣統の句碑と(4)		三〇七
	帰山と呼坂について		三〇三		美濃派遣統の句碑と(5)		三〇七
	西街道の変遷と蕪木浦		三〇六		美濃派遣統の句碑と(6)		三〇七
	戦国期若狭の延公事法		三四五		天明時代の俳諧撰集		三〇八
	近世若狭の無尽経管		三五五		田島村の歩み(1)		三〇五
	近世敦賀の百五拾人講		三五五		田島村の歩み(2)		三〇六
	戦国期の北庄橋		三七三		内山隆佐日記(1)―安政		三〇三
	御所侍名田・新御所侍		三七六		ふるさと歴史漫筆(そ		三〇三
	越前朝倉氏と加賀一(1)		三六二		橋本左内覚え書		三〇一
	越前朝倉氏と加賀一(2)		三六三	白崎昭一郎	二人の留學生とグリ(1)		三〇二
	越前朝倉氏と加賀一(3)		三六四	杉原 丈夫	二人の留學生とグリ(2)		三〇四
	入会林野管見―入会農		三〇一				三〇七
力行							
小畑昭八郎	酒井家文庫目録編集(1)		三〇四				
	酒井家文庫目録編集(2)		三〇五				
池田 正男	中世禅宗寺院越前善(1)		三〇五				
	中世禅宗寺院越前善(2)		三〇二				
	中世禅宗寺院越前善(3)		三〇三				
	中世禅宗寺院越前善(4)		三〇六				
足立 尚計	馬來田家公文職系図(上)		三〇三				
	馬來田家公文職系図(下)		三〇四				
阿部 法夫	足羽敬明名号考		三〇六				
	蓮如信仰の一考察(1)		三〇四				
	蓮如信仰の一考察(2)		三〇五				
海道 静香	「越前国之図」(1)		三〇三				
	「越前国之図」(2)		三〇三				
	「越前国之図」(3)		三〇五				
	「越前国之図」(4)		三〇六				
	「越前国之図」(5)		三〇三				

若越郷土研究総索引(四)

若越郷土研究 三十九巻四号

杉本伊佐美

越前地誌補考
昔の庄屋・戸長について
神社(信仰・神事)
神社(信仰・神事)(続)

三六一
三〇一
三〇三
三〇四

一 得能

弘一

万葉集「五幡坂」につ
楠木正成と湊川の合戦

三〇五
三〇三

二 吉井

功兒

グリフィスと越前紙漉
福井藩お雇い教師ルセ
沼津兵学校の福井藩員

三〇六
三〇七
三〇八

河和田町の式内・敷(上)
河和田町の式内・敷(下)
鯖江市河和田地区の四
仏教王国「越前若狹」

三〇五
三〇六
三〇四

三 中島

嘉文

福井県の成立と「嶺北

三〇九

四 山本

昭治

春江町井向白山神社の
麻生津付近の石造遺物
春江町の板碑群

三〇五
三〇五
三〇五

福井県の古い婚礼風習
厳しかった昔の掟(河
福井県内の昔の生活
街道・昔の旅

三〇六
三〇七
三〇五
三〇四

五 橋川

禿

探訪Ⅱ旧足羽郡酒生村
江戸時代の一農村の苦

三〇四
三〇四

六 吉井

功兒

鯖江市和田町の二石塔
建武政権若狭国の国(上)
建武政権若狭国の国(下)

三〇六
三〇三
三〇四

越前漆器の蒔絵と沈金
頭巾山権現を以て式内
式内許波伎神社をめぐ

三〇八
三〇九
三〇一

六 真柄

甚松

岸俊男先生のご逝去を

三〇九

七 岡田

市三

岡田家と南海寺の仏像
貞享2年頃の「福井城

三〇六
三〇三

山岳民族宝尾桜井家の
山頂集落宝尾の廃絶
大飯郡旧佐分利村宝尾
宝尾村落の生存構造

三〇二
三〇三
三〇三
三〇四

七 松原

信之

日本近代の「信教自由

三七〇

八 三田

村琢美

色丹島雜記

三七〇

龍溪 信行
辻森 秀英

三〇三
三〇四

八 英一

グリフィスと白山

人間 雨森信成(1)
人間 雨森信成(2)
今立吐酔とグリフィス

三〇三
三〇四
三〇二

九 龍溪

信行

グリフィスによる白山

三〇三

東称名寺創建と琵琶湖
福井県立鯖江高等学校
五幡坂とたこの呼坂

三〇四
三〇四
三〇五

九 山下

英一

人間 雨森信成(1)
人間 雨森信成(2)
今立吐酔とグリフィス

三〇四
三〇五
三〇二

十 龍溪

信行

グリフィスと白山

三〇三

夕行

三〇三

ヤ行

三〇三

三〇三

三〇三

三〇三

杉本 壽

三〇九

マ行

三〇九

三〇九

三〇九

三〇九

事務局より

三〇九

今号に掲載の「若越郷土研究総索引(四)」の

作成にあたり、春松進一氏より資料を提供を

受けました。紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

三〇九